平成26年度臨時代議員総会議案書

【審議事項】

第1号議案 平成27年度事業計画案及び予算案について

第2号議案 理事の選任について

平成27年3月26日

一般社団法人 学士会

第 1 号 議 案

平成 27 年度事業計画（案）

本会は、その定款の目的が示すところにより、諸会員の相互啓発と親睦を深め、会員の知的欲求に応える活動を行ってきたが、我々を取り巻く国際的、社会的変化の潮流は速く、これに対応するために、学士会の設立理念に則った新たな活動の展開が望まれている。

この目的を達成するためにも、平成 27 年度は以下の 3 項目を重点課題に据え、取り組んでいく。

1. 平成 27 年度重点課題

(1) 会員増強活動の強化

会員数の継続的減少は本会の存続に深い影を投じている。そのため会員増強委員会答申及び会員増強実行委員会の提案を受けて、入会者数を増やし退会者数を減らす会員増強策を継続的に実施する。

(2) 財務基盤の安定化

本会の財務基盤の強化は喫緊の課題であるが、(株)学士会館精養軒との業務委託契約の見直しなどにより収益改善が図られてきた。

本年度は、学士会館運営事業の一層の強化を軸に、本会収支の改善・財務基盤の安定化を目指す。

(3) 代議員選挙の円滑な実施

一般社団法人移行後初となる「代議員選挙」（平成 28 年 4 月からの新代議員選出手続き）を、会員増強の視点も入れながら円滑に実施する。

2. 事業計画

本年度は、上記重点課題への対応を中心とした各種事業への取組みを行うとともに、定款第 4 条に定める本会事業及び会務を以下のとおり実施する。

(1) 重点課題への取組み

「会員増強活動の強化」

- ① 入会勧誘につながる七大学及び関連同窓団体との連携強化、共催イベントの企画・実施
- ② 若手会員・女性会員に魅力のある事業の実施
- ③ 「学生会員」が参加できるイベントの実施及び入会勧誘活動の強化
- ④ 学士会館における会員向け新規企画の実施及び居住地域によらない会員サービスの提供
- ⑤ 新メディアを活用した会員増強活動の展開

「財務基盤の安定化」

- ① 学士会館全体の視点から見た財務状況の更なる改善
- ② 会費収入の減少幅の縮小及び経費削減・収入源の確保

「代議員選挙の円滑な実施」

定款及び代議員選挙規則に基づき以下のとおり選出手続きを実施する。会員増強の視点から、若手・女性会員を含む会員各層の参加を促す。

- ・各委員会委員の選任等、代議員選挙実施体制の整備（27年6月）
- ・代議員選挙規則に基づく一連の選挙手続きの実施（27年9月～翌年3月）
- ・新代議員（任期は平成28年4月から3年間）の選出・確定（28年3月）

（2）会報等の刊行（定款第4条第1号）

- ① 『學士會會報』の発行（隔月奇数月に年6回発行）
- ② 『U7』（5月号まで）の発刊及び新媒體の7月創刊

（3）七大学及び七大学関連団体の諸活動支援（第4条第2号）

- ① 「国立七大学総合体育大会」に対する特別協賛の継続、学生会館内の「七大展示コーナー」及び「支部連絡事務所」の無償提供の継続
- ② 学生会館内で実施される七大学及び全学同窓会・同窓会連合会主催の全学的催しに対する賛助金支給
- ③ 「国立七大学OB野球大会」等七大学OB団体への支援・協力

（4）学生会館の運営（第4条第3号）

- ① 会館の運営管理に関し、学生会と榊学生会館精養軒の一体的運営を強化するため、両者の実務者からなる「会館運営委員会」の設置、連携の強化
- ② 会館の安全かつ執務環境の維持管理のための適切な館内補修、改修工事の実施
- ③ 防火・防災組織の整備、実地訓練の定期実施等、防火・防災への取組み強化

（5）講演会、談話会等のイベント実施（第4条第4号）

- ① 「午餐会」「夕食会」「クリスマス家族会」「新年祝賀会」等、伝統ある本会イベントの定例実施
- ② 「関西茶話会」「若手交流会」「施設見学会」「鑑賞ツアー」等、定着してきたイベントの実施及び「土曜カフェ」「男女会員の出会いの場／交流会」「女性会」等、昨年度から企画、実施されている若手・女性向けイベントの充実・拡大
- ③ 各大学所在地における七大学及び同窓団体との共催による講演会・交流会の実施

（6）会員親睦活動（第4条第5号）

- ① 「学生会同好会」の活動に対する支援の継続及び充実
- ② 会員親睦・交流を目的とした会員の自主的活動、新たな同好会や会員グループ作りへの支援
- ③ 新媒體と連携し、「会員用Webページ」を活用した会員向け情報提供及び会員同士の交流促進、同ツールの利用促進支援の実施

以上

平成27年度 収支予算案

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	27年度予算	26年度決算見通し	増 減
【事業活動収支の部】			
1. 事業活動収入			
①会費収入			
普通会費	175,000	181,216	△ 6,216
終身会費	13,000	12,700	300
②特定資産運用収入			
特定資産利息	29,000	38,650	△ 9,650
③会館運営収入			
受託納付金(固定)	289,680	273,680	16,000
受託納付金(変動)	53,800	49,224	4,576
④事業収入			
講演会等維持会費	22,748	17,948	4,800
同好会費	837	706	131
会報等広告料	16,925	20,233	△ 3,308
氏名録費	0	33,033	△33,033
⑤雑収入			
受取利息及び配当金	16,050	16,047	3
その他	2,220	2,063	157
事業活動収入計	619,260	645,500	△26,240
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
役員報酬	2,376	2,340	36
給料手当	101,020	99,546	1,474
退職給付費用	0	6,833	△6,833
福利厚生費	17,268	15,403	1,865
旅費交通費	4,445	3,402	1,043
電話費	815	750	65
什器備品費	1,679	2,043	△364
文房印刷費	560	593	△33
消耗品費	3,767	5,720	△1,953
図書費	432	426	6
宮縮費	19,350	215,682	△196,332
施設保守費	64,317	62,341	1,976
給水冷暖房費	22,310	20,484	1,826
電灯電力費	38,703	35,555	3,148
保険料	1,110	1,080	30
租税公課	57,076	55,264	1,812
会報費	69,980	79,421	△9,441
氏名録費	0	27,332	△27,332
講演会等経費	24,032	18,459	5,573
七大戦支援費	7,000	7,700	△700
会員活動強化費	5,498	4,805	693
システム管理費	4,215	3,876	339
会場施設使用費	1,733	1,721	12
事業費支出計	447,686	670,776	△223,090
②管理費支出			
役員報酬	5,612	5,496	116
役員退職慰労金	0	900	△900
給料手当	35,494	39,864	△4,370
退職給付費用	0	2,402	△2,402
福利厚生費	7,210	7,933	△723
旅費交通費	1,912	3,407	△1,495
会議費	9,255	4,477	4,778
貸借料	120	116	4
電話費	349	323	26
文房印刷費	240	292	△52
給水冷暖房費	690	631	59
電灯電力費	1,197	1,099	98
租税公課	15,261	18,370	△3,109
会員活動強化費	4,595	4,939	△344
集金費	7,130	7,645	△515
業務報酬料	5,600	6,950	△1,350
システム管理費	3,340	2,823	517
雑費	1,734	1,517	217
管理費支出計	99,739	109,184	△9,445
事業活動支出計	547,425	779,960	△232,535
法人税等支払額	140	140	0
事業活動収支差額	71,695	△134,600	206,295

(単位：千円)

科 目	27年度予算	26年度決算見通し	増 減
【投資活動収支の部】			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入			
建物改築引当	0	1,600,000	△ 1,600,000
建物設備修繕	35,870	319,350	△ 283,480
会員活動強化	0	160,000	△ 160,000
退職給付引当	0	48,329	△ 48,329
役員退職慰労引当	0	838	△ 838
投資活動収入計	35,870	2,128,517	△ 2,092,647
2. 投資活動支出			
①基本財産取得支出			
建物附属設備	34,500	86,383	△ 51,883
②特定資産取得支出			
建物改築引当	0	1,613,490	△ 1,613,490
建物設備修繕	53,800	40,136	13,664
会員活動強化	13,000	170,250	△ 157,250
退職給付引当	4,065	43,300	△ 39,235
役員退職慰労引当	830	4,081	△ 3,251
③固定資産取得支出			
什器備品	200	14,056	△ 13,856
一括償却資産	170	802	△ 632
ソフトウェア	1,000	982	18
固定資産廃棄	0	11,437	△ 11,437
投資活動支出計	107,565	1,984,917	△ 1,877,352
投資活動収支差額	△ 71,695	143,600	△ 215,295
当期収支差額	0	9,000	△ 9,000
前期繰越収支差額	225,483	216,483	9,000
次期繰越収支差額	225,483	225,483	0

平成27年度正味財産増減計算書(予算案)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	27年度予算	26年度決算見通し	増 減
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
1. 経常収益			
①受取会費			
普通会費	175,000	181,216	△ 6,216
終身会費	13,000	12,700	300
②特定資産運用益	29,000	38,650	△ 9,650
③会館運営収益			
受託納付金(固定)	289,680	273,680	16,000
受託納付金(変動)	53,800	49,224	4,576
④事業収益			
講演会等	22,748	17,948	4,800
同好会費	837	706	131
会報等広告料	16,925	20,233	△ 3,308
氏名録発行	0	33,033	△33,033
⑤雑収益			
受取利息及び配当金	16,050	16,047	3
その他	2,220	2,063	157
経常収益計	619,260	645,500	△26,240
2. 経常費用			
①事業費			
役員報酬	2,376	2,340	36
給料手当	96,087	94,613	1,474
賞与引当金繰入額	4,934	4,934	0
退職給付費用	3,008	5,415	△2,407
福利厚生費	17,268	15,403	1,865
旅費交通費	4,445	3,402	1,043
電話費	815	750	65
什器備品費	1,679	2,043	△364
文房印刷費	560	593	△33
消耗品費	3,767	5,720	△1,953
図書費	432	426	6
営繕費	19,350	215,682	△196,332
施設保守費	64,317	62,341	1,976
給水冷暖房費	22,310	20,484	1,826
電灯電力費	38,703	35,555	3,148
保険料	1,110	1,080	30
租税公課	57,076	55,264	1,812
会報費	69,980	79,421	△9,441
氏名録費	0	27,332	△27,332
講演会等経費	24,032	18,459	5,573
七代戦支援費	7,000	7,700	△700
会員活動強化費	5,498	4,805	693
システム管理費	4,215	3,876	339
会場施設使用費	1,733	1,721	12
※減価償却費	82,227	92,650	△10,423
事業費支出計	532,922	762,009	△229,087

(単位：千円)

科 目	27年度予算	26年度決算見通し	増 減
②管理費			
役員報酬	5,612	5,496	116
給料手当	33,761	38,131	△4,370
賞与引当金繰入額	1,733	1,733	0
役員退職慰労引当金繰入額	830	747	83
退職給付費用	1,057	1,408	△351
福利厚生費	7,210	7,933	△723
旅費交通費	1,912	3,407	△1,495
会議費	9,255	4,477	4,778
賃借料	120	116	4
電話費	349	323	26
文房印刷費	240	292	△52
給水冷暖房費	690	631	59
電灯電力費	1,197	1,099	98
租税公課	15,261	18,370	△3,109
会員活動強化費	4,595	4,939	△344
集金費	7,130	7,645	△515
業務報酬料	5,600	6,950	△1,350
システム管理費	3,340	2,823	517
雑費	1,734	1,517	217
※減価償却費	4,102	9,099	△4,997
管理費支出計	105,728	117,136	△11,408
経常費用計	638,650	879,145	△240,495
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 19,390	△ 233,645	214,255
特定資産評価損益等	0	15,764	△ 15,764
当期経常増減額	△ 19,390	△217,882	198,491
II. 経常外増減の部			
1. 経常外収益			
①特定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
2. 経常外費用			
①基本財産除却損	0	36,651	△36,651
②固定資産除却損	0	658	△ 658
経常外費用計	0	37,309	△37,309
当期経常外増減額	0	△37,309	37,309
税引前一般正味財産増減額	△ 19,390	△255,191	235,800
法人税・住民税及び事業税	140	140	0
当期一般正味財産増減額	△ 19,530	△255,331	255,800
一般正味財産期首残高	4,460,068	4,715,399	△255,331
一般正味財産期末残高	4,440,538	4,460,068	△ 19,530

第 2 号 議 案

理事の選任について

本会の理事の定数は、定款第 26 条により「10 名以上 15 名以内」と定められています。

現状 14 名の理事が選任されていますが（平成 26 年 6 月 26 日 代議員総会で選任）、会務運営をより円滑に推進していくために、定款第 27 条第 1 項の定めに基づき、新たに 1 名の理事選任を行うものです。

理事候補者は次のとおりです。

☐ きり の たか あき
桐 野 高 明 会 員 | 東京大学 医学部 昭和 47 年卒業
独立行政法人 国立病院機構 理事長
元 東京大学理事・副学長
元 国立国際医療研究センター総長 |
|--|---|

なお、選任された理事の任期は、定款第 30 条第 1 項の定めにより、平成 28 年度通常代議員総会の終結の時までとなります。

(参考)

定款第 27 条第 1 項

理事及び監事は、正会員の中から代議員総会の決議により選任する。

定款第 30 条第 1 項

理事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度の内、最終のものに関する代議員通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。